

【当院の対応について】

1. 検査

1) 聴覚検査

防音室という密閉空間で行うため、現在15分以上かかる可能性のある検査(標準純音聴力検査、語音聴力検査等)は原則として控えておりますが、近日中に開放型ヘッドホン取り付け型の防音キャップを装着して、防音扉開放状態で検査が可能になる予定です。尚、チンパノ、OAEは平常通り行います。

2) 平衡機能検査

感染に注意しながら慎重に行いますが、嘔吐しそうな場合は中止します。

3) 内視鏡検査(ファイバーを用いた検査)

ファイバー自動洗浄機の設置以後は、診断のために必要な場合は実施します。
鼻だけマスクを外した状態で行いますが、くしゃみや咳を誘発しそうな場合はすぐに中止します。

4) 超音波検査(エコー)

学会からの感染防護に関する推奨もあり、原則として行いません。

2. 処置

1) 耳鼻咽喉科的各種処置

(耳処置、鼻処置、耳管処置、喉頭鏡下喉頭処置、副鼻腔自然口開大処置、鼻出血止血処置等)

いずれも、咳やくしゃみを起こすとウイルスを含む飛沫が飛び散るおそれがあるので、治療のための必要度を考え、慎重に行います。

2) ジェット・ネブライザー(鼻用)

エアロゾル発生が感染拡大を起こす恐れがあるとの指摘があり、原則耳管処置を行う

方に限定していましたが、耳鼻咽喉科のネブライザーはあくまでも薬剤を投与するためとされ、規制が取り除かれましたので 5/18(月)からは**慎重に行うこととして行っております。**

3) 超音波ネブライザー(のど用)

エアロゾルの発生については規制がなくなりましたが、薬液タンクの共有など使用者間の感染の可能性があると考えて、**現在行っていません。**今後、除菌フィルターなどが準備できるようであれば、慎重に行えるようになるかもしれません。

以下の一般的なことについて、ご協力をお願いします。

1. **体温測定**: 家を出る前の体温測定(されていない場合は受診前に測定)
2. **マスクの装着**: (咳の有無にかかわらず受診される方、付き添いの方全員)
3. **手指消毒の徹底**: (玄関・受付に消毒用アルコールスプレーの準備があります)
4. **待合室の混雑緩和**のため、完全予約制の実施、椅子の配置変更、込み合う場合は自家用車内での待機をお願いすることがあります。
5. **発熱、強いだるさ、息苦しさ、嗅覚・味覚障害などのある方**
ぜひ院内に入る前に電話をお願いします。
症状程度に応じて、駐車場に停車した自家用車内での診察を行うことがあります。
検査(PCR,抗原検査)が必要と判断したら、検査可能な施設にできるだけ速やかに紹介します。その際、検査を受けられる施設を自分で探して何か所も受診しないようお願いします。
また、**結果が出るまで必ず自宅待機し、ご家族との接触も避け、コップ等の共有を避けて共有部分(ドアの取っ手など)に触れたら必ず消毒して下さい。結果の連絡があったら、以降は検査実施機関の指示に必ず従って下さい。**